

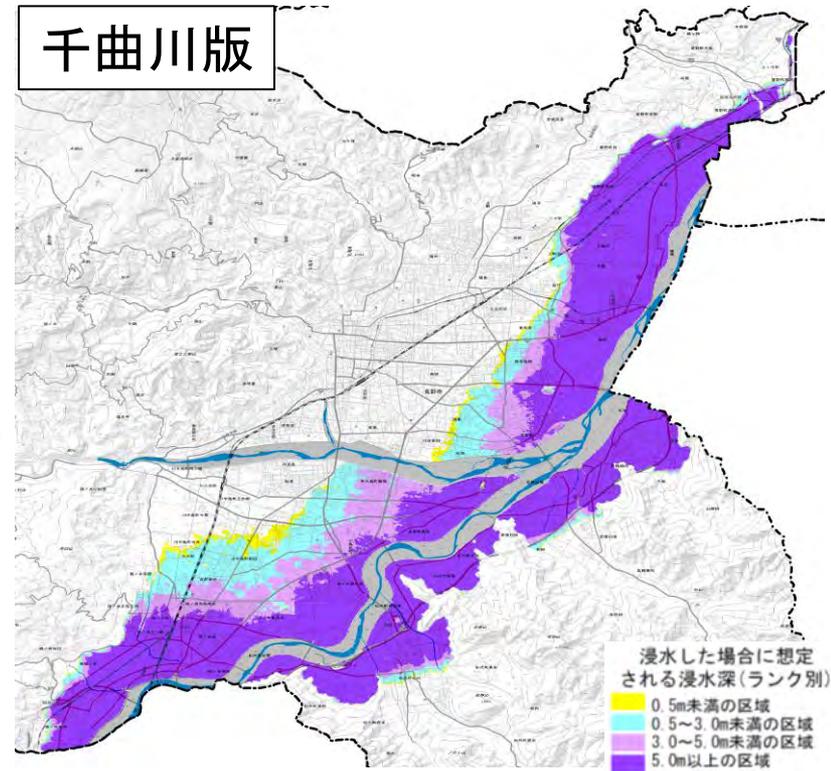
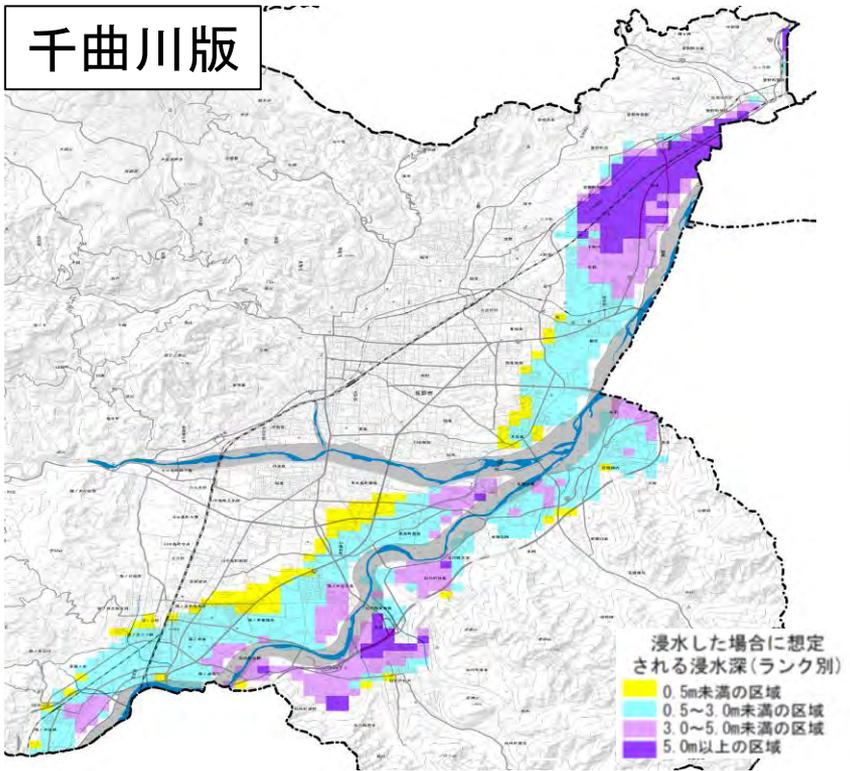
今後の課題について

平成28年3月18日

第2回千曲川・犀川流域を対象としたタイムライン検討会

1. 想定最大規模の洪水が発生した場合の防災行動の再確認

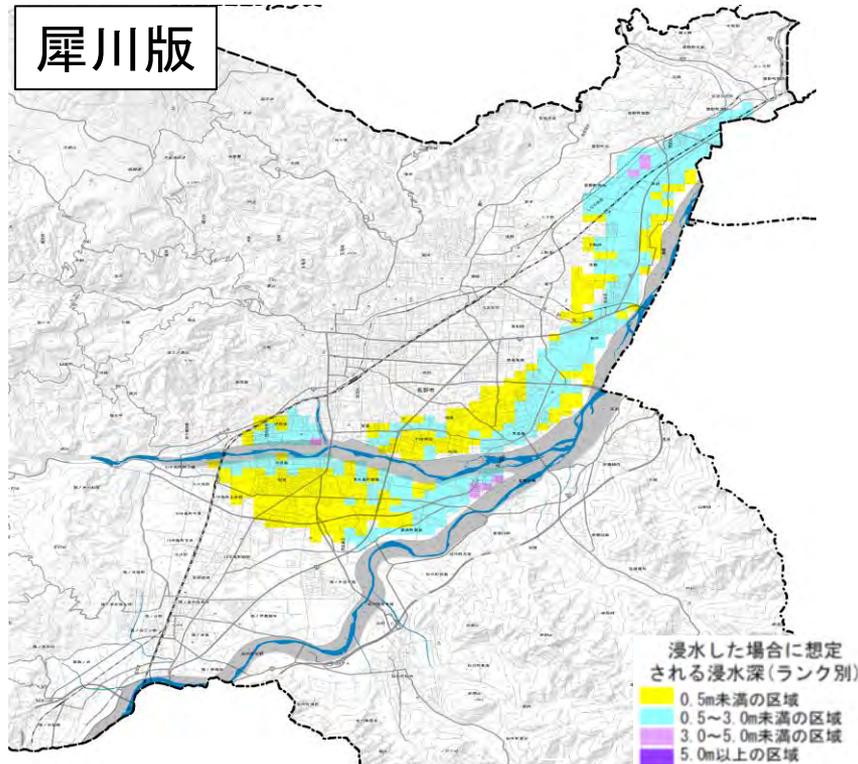
◆ 平成28年度に公表する予定である千曲川及び犀川における想定最大降雨による浸水想定区域に基づき、次回検討会までの間において今回のタイムラインに記載されている防災行動の再確認を行う必要がある



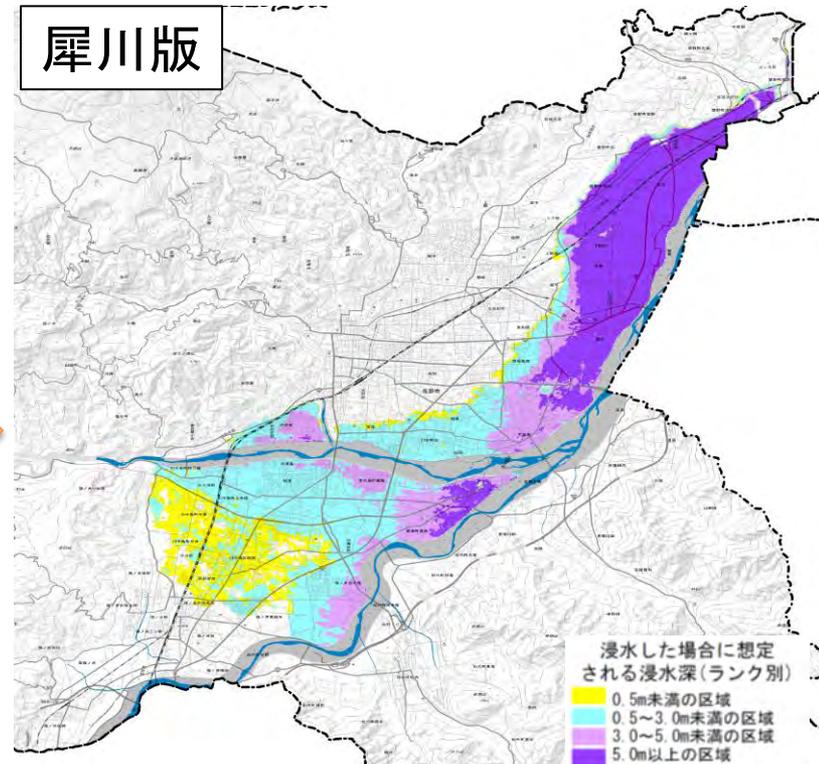
河川整備において基本となる降雨を前提とした浸水想定区域

想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域(精査中)

1. 想定最大規模の洪水が発生した場合の防災行動の再確認



河川整備において基本となる降雨を前提とした浸水想定区域



想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域(精査中)

2.要配慮者利用施設の避難の確保

- ◆ 水防法第15条の3に基づく要配慮者利用施設の避難の確保のための措置に関する計画の策定に努めることについて、さらなる要配慮者施設管理者への働きかけを進めるとともに避難訓練等により課題を抽出するとともに関係機関との連携を深める必要がある

※ 水防法第15条の3:

第十五条第一項の規定により市町村地域防災計画にその名称及び所在地を定められた要配慮者利用施設の所有者又は管理者は、国土交通省令で定めるところにより、当該要配慮者利用施設の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な訓練その他の措置に関する計画を作成するとともに、当該計画で定めるところにより当該要配慮者利用施設の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保のための訓練を実施するほか、当該要配慮者利用施設の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を行う自衛水防組織を置くよう努めなければならない。

※長野市における要配慮者利用施設数

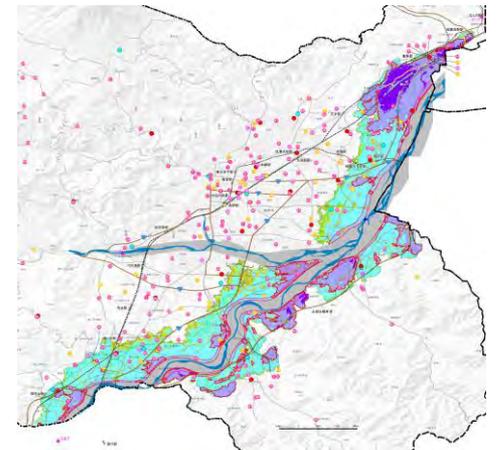
:756施設(「長野市地域防災計画 資料編」より、施設種別に拘らず施設名が重複する場合は1施設とした)

※浸水想定区域内の要配慮者利用施設数

:271施設(「長野市地域防災計画 資料編」より、施設種別に拘らず施設名が重複する場合は1施設とした)

※長野市洪水タイムライン(案)で特に立退き避難等の必要が想定される福祉施設数(常時入所者所在施設)

:9施設



参考図一長野市における常時入所者所在の福祉施設(黄色の点)及び医療施設(ピンク色の点)の分布

3. 他機関との連携について

◆他機関に希望する防災行動について(2次調査結果より)

【中部電力】→長野市

- ・発災による停電発生時には優先的に送電を実施したいため事前に避難所となる建物の名称および所在地について情報提供を希望
- ・真に復旧が必要な個所へ要員を集中させたいため、避難判断水位到達以降、順次避難状況について連絡を希望

【中部電力】→道路管理者

- ・被害を受けた配電設備を早期に復旧(送電)するためには復旧に必要な車両(機械)の搬入が必要なため発生の都度倒木・土砂等の交通途絶要因の除去について協力を希望

【長野国道事務所】→道路管理者

- ・国道の通行止めにあたり、接続する県市道への影響が生じるため接続する県市道の通行規制および迂回路の設定を協議したい。

【長野市】→千曲川河川事務所・長野県

- ・浸水被害発生時には排水ポンプ車の出動をお願いしたい。

【長野市】→中部電力

- ・浸水による電力供給がストップした場合、水道施設のポンプ等が停止するため。停電による給水活動も想定されるため、停電の正確な情報提供・停電区域・原因・復旧見込みについて情報提供をお願いしたい。

【長野市】→公共施設の各所管の機関へ

- ・所管する施設の利用者の安全確保をお願いしたい。

交通規制が想定される県市道の通行規制および迂回路の指定

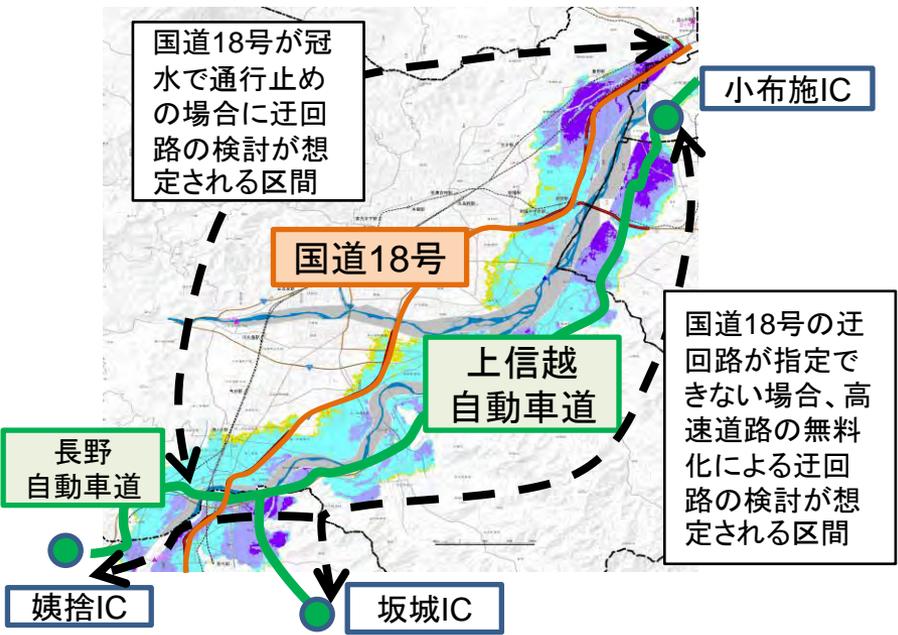
国道の通行止めにあたり、接続する県市道への影響が生じるため接続する県市道の通行規制および迂回路の設定を協議したい。

①接続する県市道の通行規制

住民が避難勧告発令時において、浸水想定区域内へ向かわない方策の検討が必要例)まるごとまちごとハザードマップにより現地で浸水想定区域を明示するなど

②迂回路の設定

- ・平常時から洪水氾濫のおそれがある場合の迂回路の検討を進めておく必要がある。検討にあたっては、迂回路設定の発議(誰が、いつ、何をするか)が必要
- ・高速道路の無料通行区間の申請を活用することも有効な手段



まるごとまちごとハザードマップの事例(須崎市)

千曲川が氾濫した場合に迂回路の検討が想定される区間

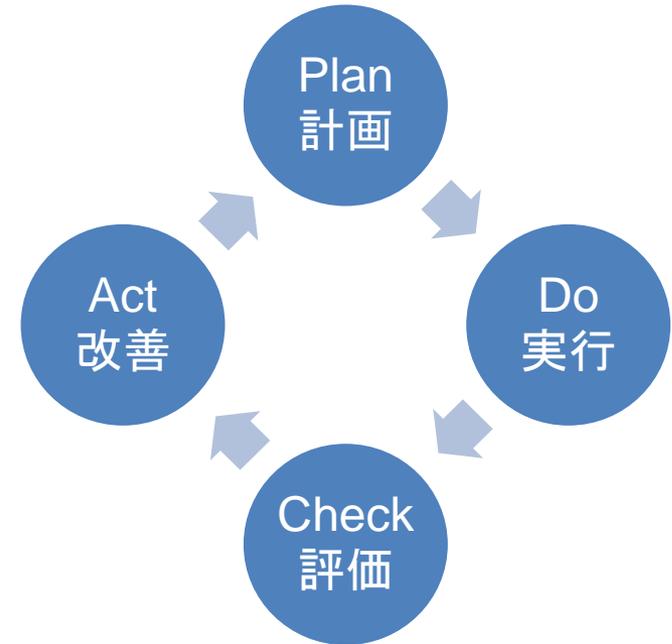
4. タイムラインの運用体制について

- ◆ 今回作成した長野市洪水タイムライン(案)の課題を抽出するため、定期的に各関係機関が合同でロールプレイング形式等の机上訓練を実施し、長野市洪水タイムライン(案)の内容を見直していくPDCAサイクル構築し、運用体制の検討していく必要がある



<http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/oshirase/oshirase/20141219timeline5/index.html>

庄内川タイムライン 机上訓練の様子
中部地方整備局庄内川河川事務所



PDCAサイクル